

今後の施設一体型小中一貫校の設置方針について

平成 24 年 5 月 11 日戦略会議資料
教 育 委 員 会 事 務 局

◇ これまでの施設一体型小中一貫校の考え方

(平成 22 年 8 月 25 日決定)

設置の基準

- ・ 小中一貫教育にこれまで実績のある学校について設置を進める。
- ・ 校区内に小学校が 1 校の中学校で、中学校の既存の校舎に小学校も収容が可能な場合に設置
- ・ 当面、矢田・矢田南小中一貫校及び啓発・中島小中一貫校の 2 校のみを対象とする。

教育課程

- ・ 同一敷地内に小学校と中学校を併置
- ・ 小学校の教育課程と中学校の教育課程をそれぞれ実施し、現行の学習指導要領の範囲内で取り組む。

校区

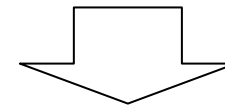
- ・ 現行の校区から就学（他の校区からの受入れは行わない）

施設整備の考え方

- ・ 校区内の児童生徒数に応じた教室数を整備
- ・ 既存の校舎を最大限に活用

これまでの方針の課題等

- 当面設置予定の 2 校については、将来的に 1 学年 1 学級になる見込みであり、異学年の交流は期待できるものの、同学年で切磋琢磨するなど、教育活動に適した規模の観点からは課題となってくる。
- 現行の校区からの就学を前提とし、他の校区からの受入れを行わない以上、現行の学習指導要領における小学校と中学校の枠を超えた特別な取り組みはできない。
- 中学校区に小学校が 1 校の学校は、市内に 9 校のみであり、施設一体型になっても適正規模を超えずに既存の校舎に小中とも収容が可能な学校は当初案の 2 校のみである。今後の展開については、必要な施設整備を含めて、考えていく必要がある。



- ◇ 広く校区を超えて児童生徒を受け入れることにより、施設一体型小中一貫校の適正規模を確保する。
- ◇ 学校の特色化を図ることで、児童生徒保護者のニーズに応える小中一貫校を目指す

◇ 今後の施設一体型小中一貫校設置方針(案)

設置の基準

- 地域のバランスを考慮し、統廃合などの機会を捉えて設置。当面、平成 25 年度に示される予定の新たな行政区割りにつき、1 校設置することを目指す。
 - ◆ 地域的な偏在を解消することで、児童生徒保護者が新たな小中一貫校を選択しやすくし、公平性を確保する。当初 2 校と西成区(今宮中学校区)で検証
- 施設一体型小中一貫校についても適正規模を確保する。
 - ◆ 各学年 2 クラスを想定(1~9 年生 18 学級)、安全の観点から、小学校低学年と中学生との活動域を分けられる一定の校地面積があることを考慮する。

教育課程

- 現行指導要領の内容に加え、特色ある教育を実施(週当たり時数の増加で授業時間を確保)
(取組内容の例)
 - ◆ 語学力・コミュニケーション能力の育成に重点、小学校 1 年生から英語学習を実施
 - ◆ 習熟の程度に応じ、学年を縦断した反復学習や発展的な学習の充実
 - ◆ ICT 環境を充実させ、9 年間を通して ICT を活用した教育活動を実施
 - ◆ 異学年交流等の縦割り活動を活用した学習活動の実施
 - ◆ 9 年間を通した早期や放課後の時間を活用してのモジュール学習
 - ◆ 土曜授業の実施による教育活動の公開

校区

- 広く全市から募集する。
- 現行の校区の児童生徒は優先的に就学できることとする。
- 定員を超える場合は抽選とする。

施設整備の考え方

- 既存の校舎を最大限活用し、収容できない場合は増築を行うが、近隣の施設を活用するなど、効率的な設置を行う。
- 学年を縦断した習熟度別授業や異学年交流など、新たな教育内容に応じた教室の整備を行う。

◇ 今後のスケジュール（参考）

当初案２校（矢田・矢田南、啓発・中島）の新小中一貫校移行へのスケジュール

➤ 平成２６年度に新たな小中一貫校として開校

矢田・矢田南小中一貫校：平成２４年度に開校、平成２６年度に小学校及び中学校で児童生徒を募集

啓発・中島小中一貫校：当初予定通り平成２６年度に児童生徒の募集を行ったうえで開校

➤ 学校の特色化や適正規模化に伴い、平成２５年度中に必要な整備を行う ⇒ 平成２４年度補正予算で議論

矢田・矢田南小中一貫校：受入れ児童生徒に応じた教室や施設の整備（既存の校舎で対応）

啓発・中島小中一貫校：受入れ児童生徒に応じた教室や施設の整備

（既存の校舎で対応不可、近隣施設の活用について再検討）

今宮小中一貫校（新規）の設置スケジュール

➤ 小学校の適正規模化（萩之茶屋、弘治、今宮の３小学校の統合）に伴って、小中一貫校を平成２７年度に開校

➤ 不足する教室等を設置するため、校舎の増築を行う ⇒ 平成２４年度補正予算で議論

➤ 小中一貫校設置にかかる課題等については、今後、西成特区構想プロジェクトチームにおいて議論